

ポケット型デジタルマルチテスター

JTC1442

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本器はすぐれた技術から創りでされた信頼性の高い製品です。ご使用いただく前に、この説明書をよくお読みいただき、本器を正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。特に「安全測定のための注意事項」や「安全マーク」のある箇所は重要ですので、熟読くださいますようお願いいたします。

安全マークについて

- ⚠ 安全のため、本書の説明箇所をよくお読みください。
- ⚡ 高電圧が発生するため注意してください。

安全測定のための注意事項

⚠特に感電や人身事故などの危険性がある注意事項については重要ですのでご使用前に必ずお読みください。

- 本器の許容測定範囲を越えた電圧や電流は絶対に入力しないでください。
- ロータリースイッチやテストリードが正しい設定位置にあるかどうか確認してから、測定を開始してください。ロータリースイッチの位置を変更するときは、テストリードを回路から外してください。
- 安全上、250V以上の工業用電力ラインの電圧測定、電子レンジなど高周波機器は危険ですから、絶対におやめください。
- DC 60V、AC 25V以上の電圧の場合は感電の恐れがありますので、濡れた手で操作したり、多湿の場所では使用しないでください。
- 測定中はテストリードの金属部分には絶対にさわらないように注意してください。(リード線の被膜が破れて露出しているものは使用しないこと)。
- 内臓ヒューズは同じ規格のものを使用してください。
- ケースが破損していたり、リアケースが外れた状態では使用しないでください。
- 不当な修理や改造は絶対におやめください。
- 本器の点検や校正は半年～1年に1度は行なうようにおすすめします。

仕様

●一般的な仕様

電源	9V×2
寸法・重量	75(W)×150(H)×30(D) mm , 約180g
付属品	電池(9V)×1(本体搭載)、テストリード、取扱説明書

●電氣的機能性(23℃±5℃、75%RH以下、結露のないところ)

精度：±(%読み値+最小桁値)

	レンジ	測定精度	最大許容値
直流電圧	2V	1.0%+3dgs	1000V
	20V		
	200V		
	1000V		
交流電圧	200V	2.0%±5dgs	1000V
	1000V		
直流電流	2mA	3.0%+5dgs (レンジ10Aの時)	500mA/250V
	20mA		
	200mA		
	10A		
抵抗	200Ω	3.0%+5dgs (レンジ20Ωの時)	DC/AC 500V PTC
	2KΩ		
	20KΩ		
	200KΩ		
	2MΩ		
トランジスター	レンジ	I c b	
	NPN, PNP	10μA	
導通テスト	100Ω以下		

各部名称と働き



- ① 液晶表示機
測定値および単位記号を表示。
- ② ロータリースイッチ
電源スイッチおよび測定機能を選択するスイッチ。測定後は、必ずOFFにしてください。
- ③ テストリード
黒色のテストリードがマイナス(-)側、赤色のテストリードがプラス(+)側。
- ④ DC10A+入力端子
10A レンジを使用する時に赤色テストリードを接続します。
- ⑤ -COM 入力端子
- ⑥ +入力端子
- ⑦ トランジスタソケット

測定方法



警告

ロータリースイッチとテストリードの差込位置を確認してください。

直流電圧(DCV)の測定

- ① ロータリースイッチを測定範囲に必要なレンジに合わせます。
- ② 測定回路の-(マイナス)側に黒色のテストリードを+(プラス)側に赤色のテストリードを接続します。
- ③ 測定値を読み取ります。
※ 測定例：市販の電池、自動車のバッテリーなど。



注意

本器を負荷(回路)と並列に接続して測定します。

交流電圧(ACV)の測定

- ① ロータリースイッチを ACV の最適な位置に設定します。
- ② 測定回路のテストリードを接続します。交流電圧の場合は、赤・黒色テストリードは極性には関係ありません
- ③ 測定値を読み取ります。
※ 測定例：家庭内コンセントなど。



注意

本器を負荷(回路)と並列に接続して測定します。

抵抗(OHM)の測定

- ① ロータリースイッチを Ω の最適な位置に設定します。
- ② 測定回路または抵抗器の両端にテストリードを接続します。
- ③ 測定値を読み取ります。
※ 測定例：抵抗器、電気器具の結線チェックなど



警告

回路内の抵抗測定の場合は必ず回路内の電源を切り、コンデンサーを放電させてから測定してください。

導通 (●) チェック

- ①ロータリースイッチを の位置に設定します。
 - ②チェックしようとする回路(導線)の両端にテストリードを接続します。導通していれば(100Ω以下)でブザーが鳴ります
 - ③測定値を読み取ります
- ※ 正確な測定値を知りたい時は、Ωレンジで測定してください。

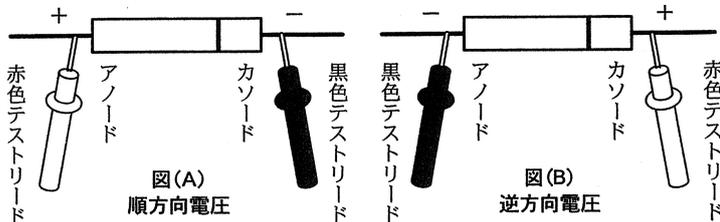


警告

回路内の素子を測定する場合は必ず回路の電源を切り、コンデンサを放電させてから測定してください。

ダイオード(→)テスト

- ①ロータリースイッチを の位置に設定します。液晶表示器に 1 が表示されます。
- ②テストリードを図(A)のように順方向に接続します。正常なダイオードの場合、目安として 0.4~0.7V 前後の値を表示します。もし、ダイオードに異常があり、短絡状態であれば 0mV 近くを示し、逆にオープン状態であれば OL を表示します。
- ③テストリードを図(B)のように逆方向に接続します。正常なダイオードは OL を表示し、逆に 0mV に近い値であればダイオードが短絡状態であることを示します。



※回路に結線された状態でのダイオードテストは他の部品の影響を受けるので、回路から切り離してからテストしてください。

※本器のダイオードテストレンジは簡単な良否判定用です。正確な順方向電圧等を知りたいときは、専用の測定器を使用して下さい。

※LED、整流用ダイオード等は順方向電圧(VF)が高いため(約1V以上)判定できません。



警告

最大許容入力を超えた測定はしないように注意し、また、絶対に電圧を印可しないでください。

直流電流(mA)の測定

- ①ロータリースイッチを測定する電流に合わせて最適な位置に設定します。
 - ②測定しようとする回路の電源を切り回路を切断します。
 - ③回路の極性を確かめて黒色テストリードを一側に、赤色テストリードを+側に接続します。
 - ④回路と直列にテストリードを接続し、測定回路の電源を ON にします。
 - ⑤液晶に表示された値を読みます。
- ※ 測定例：回路等の電流測定など



警告

最大許容入力を超えた測定はしないように注意し、また、絶対に電圧を印可しないでください。

トランジスター (hFE) の測定

- ①ロータリースイッチを測定するトランジスターのタイプにあわせて適切に設定してください。(NPN形、PNP形)
- ②最大値を超えると正しいTR測定はできません。

電池交換

- ①電池は規格に合ったものを2個同時に交換してください。
- ②電値の交換は本器背面の止めネジをプラスドライバーで開けて、極性を間違えないように入れてください。



警告

電気事故防止のため、電池交換時にテストリードを回路からはずし、本器のロータリースイッチをOFFの位置にしてから交換作業を始めてください。

保証書

※ご使用者 住所 氏名	
品番	JTC1442
保証期間	年 月より1年
保証規定	
<p>1 保証期間中は正常な使用状態で、万一故障が生じた場合は、保証規定に基づき無償で修理いたします。</p> <p>2 本保証書は、日本国内のみ有効です。</p> <p>3 保証書の再発行はいたしません。</p> <p>4 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> a 不適当な取扱・使用による故障 b 設計仕様条件等をこえた取扱い、使用または保管による故障 c 当社もしくは当社が委託した者以外の改造または修理に起因する故障 d その他当社の責任とみなされない故障 	
販売店名	

輸入販売元

有限会社ラグナ

〒745-0868 山口県周南市南浦山町5-40

TEL : 0834-22-7500

FAX : 0834-22-7600